

その他の取り組み

健康企業宣言「金の証」



健康経営推進会議メンバー



当院は健康企業宣言東京推進協議会（会長：小池百合子）の健康宣言事業である「健康企業宣言」にも参加しており、「銀の証」につづき2024年度9月には「金の証」の認定を取得した（認定期間：令和7年10月1日～令和8年9月30日）。当院が加入する東京都医業健康保険組合でも、「金の証」認定を取得している事業所は、2026年3月現在で2事業所のみである。

健康経営のしおり発行



職員に向けて「城西病院健康経営のしおり」を発行。健康経営の取り組みを分かりやすく解説している

新入職員の健康経営研修

新入職員に対して実施する【城西病院の健康づくり】研修も健康経営の一環として行っている。

【城西病院の強みとくすり】		
診療科目	医師 数	くすり
呼吸器内科	11名	呼吸器内科は、呼吸器系（肺、気管支、気管）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。呼吸器系は、呼吸器系（肺、気管支、気管）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
消化器内科	5名	消化器内科は、消化器系（胃、腸、肝臓、胆膵臓）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。消化器系は、消化器系（胃、腸、肝臓、胆膵臓）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
循環器内科	5名	循環器内科は、循環器系（心臓、血管）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。循環器系は、循環器系（心臓、血管）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
腎臓内科	2名	腎臓内科は、腎臓系（腎臓）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。腎臓系は、腎臓系（腎臓）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
内分泌科	2名	内分泌科は、内分泌系（甲状腺、副甲状腺、下垂体、視床下部、膵臓、腎臓、性腺）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。内分泌系は、内分泌系（甲状腺、副甲状腺、下垂体、視床下部、膵臓、腎臓、性腺）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
小児科	2名	小児科は、小児系（小児）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。小児系は、小児系（小児）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
皮膚科	2名	皮膚科は、皮膚系（皮膚）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。皮膚系は、皮膚系（皮膚）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
泌尿器科	2名	泌尿器科は、泌尿器系（腎臓、膀胱、尿道、生殖器）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。泌尿器系は、泌尿器系（腎臓、膀胱、尿道、生殖器）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
外科	2名	外科は、外科系（外科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。外科系は、外科系（外科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
婦人科	2名	婦人科は、婦人系（婦人）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。婦人系は、婦人系（婦人）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
産科	2名	産科は、産科系（産科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。産科系は、産科系（産科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
眼科	2名	眼科は、眼科系（眼科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。眼科系は、眼科系（眼科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
耳鼻科	2名	耳鼻科は、耳鼻科系（耳鼻科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。耳鼻科系は、耳鼻科系（耳鼻科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
歯科	2名	歯科は、歯科系（歯科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。歯科系は、歯科系（歯科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
放射線科	2名	放射線科は、放射線科系（放射線科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。放射線科系は、放射線科系（放射線科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
病理科	2名	病理科は、病理科系（病理科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。病理科系は、病理科系（病理科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
検査科	2名	検査科は、検査科系（検査科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。検査科系は、検査科系（検査科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
薬剤科	2名	薬剤科は、薬剤科系（薬剤科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。薬剤科系は、薬剤科系（薬剤科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
理学療法科	2名	理学療法科は、理学療法科系（理学療法科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。理学療法科系は、理学療法科系（理学療法科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
作業療法科	2名	作業療法科は、作業療法科系（作業療法科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。作業療法科系は、作業療法科系（作業療法科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
言語療法科	2名	言語療法科は、言語療法科系（言語療法科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。言語療法科系は、言語療法科系（言語療法科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
看護科	2名	看護科は、看護科系（看護科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。看護科系は、看護科系（看護科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
栄養科	2名	栄養科は、栄養科系（栄養科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。栄養科系は、栄養科系（栄養科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
社会福祉科	2名	社会福祉科は、社会福祉科系（社会福祉科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。社会福祉科系は、社会福祉科系（社会福祉科）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。
その他	2名	その他は、その他系（その他）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。その他系は、その他系（その他）の病気やアレルギー性疾患の診療に専門的知識と経験が豊富です。



その他

- ・ 衛生管理者その他資格取得の助成
- ・ 食事会等のレクリエーションの実施

自治体が主催する市民講座に講師を派遣

[illegible]

杉並区ホームページより



地域の皆様へ生活習慣病予防に役立つ健康講座への協力

労働安全衛生

年度	2022	2023	2024	2025
労働災害による 死亡者数	0人	0人	0人	0人
休業災害頻度	0%	0%	0%	0%

労働安全衛生法に基づき、当院では安全衛生委員会を設置している。安全衛生委員会では、労働者の危険又は健康障害を予防するためのとるべき対策に、労働者の意見を反映するため月に1回実施している。また、担当者より健康経営の取り組み等の報告も行い、労働者からの意見や要望等を健康経営推進会議の議題としている。

- ・ 職員の感染対策の徹底(感染対策委員会)
- ・ 感染対策教育の実施(教育委員会)
- ・ 職員及び家族のインフルエンザワクチン予防接種の無償実施

仕事と治療の両立支援

仕事と治療の両立支援として、当院では休職・復職に関する規定を設け、主治医の意見をもとに、職場や産業医が復職に向けた支援を行っている。その内容として、休業期間中や復職後における相談窓口の設置や、休職からの復職を円滑にするために試行的・段階的な勤務制度等を導入しており、また治療費の補助、病気の治療と仕事の両立に向けた面談・助言の実施や復帰する部署の上司に対する、両立支援への理解を促すための教育・面談等を実施している。

表彰制度



健康経営表彰制度とは、健康経営のグループ施策で優秀な結果をおさめたグループについて、健康経営推進会議の推薦を受け経営会議で承認にされ表彰される。2025年度は3つのグループが表彰された。

優秀賞グループの取り組み



(参加者の声)

今回は体力の変化を感じるスタッフも多く、「筋力・体力づくり」をテーマに実施しました。握力測定で「これはまずい！」と実感し、その後は日々のジャンプや筋トレに取り組みながら、皆で声をかけ合う中で一体感が生まれ、笑いあり、感動ありの楽しくあっという間の期間でした。

(参加者の声)

それぞれストレッチやウォーキング、筋トレを8か月継続し、医業健保のウォーキングキャンペーンにも全員で参加しました！継続的な取り組みにより運動への意識が高まり、徒歩通勤への切り替えなど前向きな行動の変化が見られました。



取り組み効果と今後の課題

当院の健康経営は2021年からスタートし、今年で5年目となる。2024年には、健康経営活動の報告書（本報告書）「健康経営白書」を初めて発行し公開した。これは、健康経営の活動がどのように行われ、結果につながっているかを可視化することにより、取り組みを行っている職員が活動を実感でき、当院の患者や顧客、取引企業にも健康経営の意義を広く伝えることを目的としている。また、健康経営の促進ツールとして「城西病院健康経営のしおり」を発行し、全職員に配布した。さらに、健康企業宣言東京推進協議会(会長：小池百合子)の健康宣言事業である「健康企業宣言」についても、「銀の証」につづき2024年度9月には「金の証」の認定を取得した(認定期間：令和7年10月1日～令和8年9月30日)。これは、当院が加入する東京都医業健康保険組合でも、2事業所(2026年3月現在)のみである。

2026年9月に、当院の予防医学部が参加している人間ドック・予防医療学会の学術大会(熊本開催)で、「病院運営における健康経営取り組みの効果と課題、その歩みの紹介」と題して発表を行うことを予定している。これは、当院が健康経営の組織体制や取り組みに至るプロセス、それにより得た効果と課題を指標等を使い解説し、またその活動の歩みを紹介している。

そしてこの発表は、健康経営に取り組む企業が自社の理念を達成するために必要な、職員の健康維持に寄与していることを実証している。

一方その発表の中には課題も挙げており、その一つとして、健康に対する意識向上を全ての従業員に浸透させるには相応の時間が必要だと述べている。社員の中には健康経営の取り組み参加に積極的でない者、生活習慣改善の気持ちはあるがなかなか実践できない者等が一定数いることも事実である。しかし、誰かを取り残すことなく、また参加を強制することもなく取り組みを促進するため、課題を抽出し、改善し、工夫を繰り返すといった長期的な視点が大切である。

そして、最終目標である「ワーク・エンゲージメントの向上」「アブセンティーズム・プレゼンティーズムの低減」に繋げ、職員が心身ともに健康で働き、患者・顧客に対し価値あるサービスを提供する。

2026年5月 健康経営推進会議